

みずほCustomer Desk Report 2023/02/08 号 (As of 2023/02/07)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	132.58
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	132.62	1.0730	142.24	1.2033	0.6890
SYD-NY High	132.71	1.0767	142.30	1.2095	0.6989
SYD-NY Low	130.47	1.0670	140.29	1.1962	0.6882
NY 5:00 PM	131.09	1.0729	140.63	1.2050	0.6960
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,156.69	265.67	日本2年債	▲0.0300%	0.0000%
NASDAQ	12,113.79	226.34	日本10年債	0.4900%	0.0000%
S&P	4,164.00	52.92	米国2年債	4.4655%	▲0.0080%
日経平均	27,685.47	▲ 8.18	米国5年債	3.8373%	0.0080%
TOPIX	1,983.40	4.18	米国10年債	3.6783%	0.0365%
シゴ日経先物	27,685.00	▲ 20.00	独10年債	2.3095%	0.0290%
ロンドンFT	7,864.71	28.00	英10年債	3.3115%	0.0725%
DAX	15,320.88	▲ 25.03	豪10年債	3.5870%	0.1080%
ハンセン指数	21,298.70	76.54	USDJPY 1M Vol	12.07%	▲0.09%
上海総合	3,248.09	9.40	USDJPY 3M Vol	12.92%	0.00%
NY金	1,884.80	5.30	USDJPY 6M Vol	11.70%	▲0.07%
WTI	77.14	3.03	USDJPY 1M 25RR	▲0.95%	Yen Call Over
CRB指数	270.79	4.58	EURJPY 3M Vol	12.33%	▲0.08%
ドルインデックス	103.43	▲ 0.19	EURJPY 6M Vol	11.50%	▲0.10%

東京	ドル円は東京時間高値となる132.62レベルでオープン。先週の米1月雇用統計発表後からのドル高が継続する中、実需の売りもあり上値重く推移するも132円台では堅く50銭程の値幅に終始。結局132.15レベルで海外時間に渡った。12:30にはRBAが25bpの利上げを実施し政策金利は3.35%となるもドル円相場への影響は限定的となった。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、132.15レベルでオープン。立ち上がりやや上下に振れ131.69-132.31をつけるもその後は同レンジ内でもみ合い、結局132.03レベルでNYに渡った。特段材料は出ておらず、引き続き日銀人事待ちで方向感が出にくかった模様。
ニューヨーク	NY時間のドル円は132.03レベルでオープン。朝方は米金利上昇に伴い欧州通貨や資源国通貨に対してはドル買いが進んだが、クロス円の売りが重しとなったドル円は上値重く推移。その後、ドル買いの流れが一巡するとドル円の下落が加速し、さらに午後に予定されているパウエルFRB議長の講演を控えた持ち高調整の売りもあいまって131.13まで下落し、週明けに開けた窓埋めを完了。午後はパウエルFRB議長が講演で「ディスインフレのプロセスが開始された」と再度述べる中、市場はドル売りで反応し、一時130.47まで下押し。しかし、先週のFOMCと比べても目新しい発言内容は見当たらず、講演終了後は買い戻し優勢。終盤は131円台前半で小動きとなり、131.09レベルでクローズ。一方、NY市場のユーロドル1.0706レベルでオープン。朝方はオープン前の流れを引き継ぎ1.0670まで下押し。その後、1.0700付近まで買い戻され、パウエルFRB議長の講演でドル売りが強まると1.0767まで続伸。しかし、滞空時間は短く、すぐにイベント前の水準まで戻した。終盤は小幅値を戻し、1.0729レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 大橋・松木

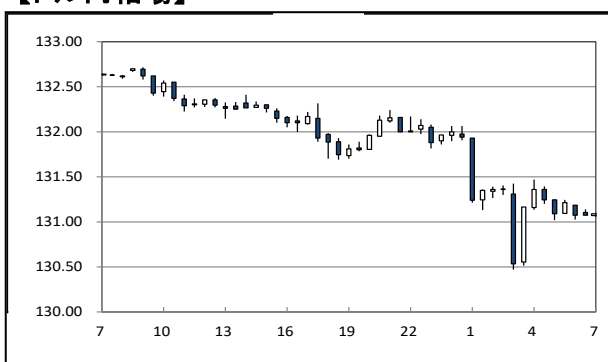
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月7日	12:30	豪 RBAキャッシュレート	7-Feb	3.35%
	16:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	12月	-3.1%
	22:30	米 貿易収支	12月	-\$67.4b
2月8日	02:40	米 パウエルFRB議長 講演	「ディスインフレは開始も労働市場は強く更なる利上げは必要」	

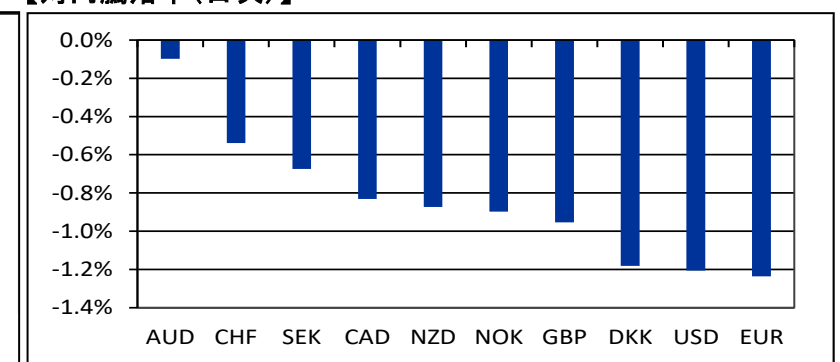
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月8日	23:15	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	-
2月9日	00:00	米 ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-
	00:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	12月	0.1%
	00:00	米 卸売売上高(前月比)	12月	-0.2%
	02:30	米 カシユカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	130.20-131.60	1.0650-1.0790	140.20-141.70

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は下落。東京時間のドル円は132.62レベルでオープン。先週の堅調な米雇用統計を受けたドル高が意識されやすい中、実需の売りも入り、上値重く推移し132円前半まで徐々に下落。海外時間では、米金利上昇に伴い、ドル買いも見られたものの、クロス円に売り圧力がかかるとドル円も上値重く推移。注目されていたFRBパウエル議長講演では、ディスインフレのプロセスが開始されたとの発言にドル円は売りで反応し、130円半ばまで下落。その後は、米3年債入札が4bpテールとやや軟調な結果となり、小幅ドル買いの流れとなり、131.09レベルでクローズ。本日のドル円は小幅下落する展開を想定。足許ドル円と比較的相関が高い米10年債は、昨日直近の堅調な米雇用統計、IG市場での起債ラッシュ等を材料に金利上昇。一方で、パウエル議長講演では、特段新しい材料は見られず、昨年のフロントロード型の利上げ姿勢は明確に見られないことから、実質金利の一段の上昇は考えにくく、実質金利主導の金利低下に伴い、ドル円は小幅下落する展開を想定。